

(様式1)

学校名	福島県立二本松工業高等学校 福島県立大笹生養護学校	校長	高梨 哲夫 片寄 一
住 所	(二本松工業高等学校) 福島県二本松市榎戸一丁目5番地2 (大笹生養護学校) 福島県福島市大笹生字組板山182番地2		
TEL	(二本松工業高等学校) 0243 - 23 - 0960 (大笹生養護学校) 024 - 558 - 8710		
ホームページアドレス	(二本松工業高等学校) http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp (大笹生養護学校) http://www.ohzasou-sh.fks.ed.jp		

共に学ぶ“共同製作実習”

【取り組みの概要】

二本松工業高等学校と大笹生養護学校との共同製作実習は、今年度で3年目となる。二本松工業高等学校の生徒にとっては、障がいをもつ子どもたちが本当に必要としているものを作る「マーケットイン」の考えを実践すること、大笹生養護学校の児童生徒にとっては、作成していただいた教材・教具を授業で活用したり、交流を深めたりすることをねらいに取り組んでいる。

【内 容】

今年度は、二本松工業高等学校情報システム科3学年の生徒3名と大笹生養護学校の小学部児童3名が、それぞれペアになり計4回実習を行った。二本松工業高等学校の生徒が、大笹生養護学校の児童の授業に参加したり、一緒に給食を食べたりしながら交流を深めた。回を重ねる中で、共に笑顔が見られたり、会話が多く聞かれたりして、打ち解けながら係わり合う姿が見られた。

二本松工業高等学校の生徒は、児童の体の動きや発語の様子等の特徴を捉え、どうすれば大笹生養護学校の児童が使いやすくなるかを考え、以下の教材・教具を作製した。



〈作製に取り組む二本松工業高校生〉

教材・教具



〈軽いタッチで演奏できる
木製ピアノ〉



〈児童の移動速度に
合わせた車の玩具〉



〈声を認識して
入力できる教材〉

【二本松工業高等学校生徒の感想】

- マーケットインを実践することの難しさや、ペアの児童の行動の様子を観察することの大切さを学ぶことができた。
- ペアの児童の喜んでいる姿からものづくりの楽しさを感じた。児童の顔を思い浮かべながら作ることができた。

